

帯広畜産大学公式ウェブサイト制作業務
仕様書

平成 30 年 8 月

国立大学法人帯広畜産大学

目次

1. 業務概要
 - 1-1. 件名
 - 1-2. 業務期間
 - 1-3. 基本方針
2. 制作業務内容
 - 2-1. メニュー構成・掲載内容
 - 2-2. 標記言語
 - 2-3. デザイン
 - 2-4. CMS の要件及び機能
 - 2-5. セキュリティ対策及びメンテナンス
 - 2-6. ウェブアクセシビリティの配慮
 - 2-7. コンテンツ制作の提案
 - 2-8. ライティング業務の提案
 - 2-9. 写真・動画撮影
 - 2-10. 操作マニュアルの作成
 - 2-11. 管理者, 更新者の研修
 - 2-12. 本業務の遂行体制と制作スケジュールの管理
 - 2-13. 現行ウェブサイトから新ウェブサイトへの移行作業
 - 2-14. DNS サーバーの設定
 - 2-15. 現行サイトについて
 - 2-16. サーバーの要件
 - 2-17. 対応ブラウザ, OS, 表示の要件
 - 2-18. UPKI 証明書設定
 - 2-19. リダイレクトの設定
 - 2-20. 納品方法

別紙一覧

- 別紙1 「制作対象となるウェブサイト一覧」
- 別紙2 「本学の広報活動の対象者と求める行動」
- 別紙3 「平成 31 年度以降のウェブサイト管理体制と更新体制」

1. 業務概要

1-1. 件名

帯広畜産大学公式ウェブサイト制作業務

※制作の対象となる本学ウェブサイト及び主要組織のウェブサイトについては、別紙1「制作対象となるウェブサイト一覧」を参照すること。

1-2. 納期

(1) 納期：平成31年3月19日（火）

(2) 平成31年3月19日（火）までにサーバー上に構築と検査を終え、「本学がDNSサーバーの設定変更を行えば問題なく公開できる状態」に完成させること。

※平成31年3月19日（火）～31日（日）の間にシステムのアップデートがあった場合の対応を含む。

(3) 公開日：平成31年4月1日（月）

1-3. 基本方針

本学の受験生，在學生，留學生，卒業生，その保護者及び教育関係者，学内外の研究者及び大学関係者，地域，企業，行政関係者，本学教職員を広報の主たる対象者と考え，このような多様な対象者に適切かつ十分な情報提供を行い，また本学の教育と研究の特徴をアピールして，広く理解と参加を求める。

なお，対象者と求める行動については，別紙2「本学の広報活動の対象者と求める行動」を参照すること。

2. 制作業務内容

本件は，現在運用している帯広畜産大学公式ウェブサイトを更新して，本学全体の広報活動の拠点となるウェブサイトを作成するものである。以下の要件に応える制作業務をすること。

2-1. メニュー構成・掲載内容

本体ウェブサイトと主要組織ウェブサイトの現行の構成を見直して，以下の点に配慮して，別紙2「本学の広報活動の対象者と求める行動」に沿ったメニュー構成・掲載内容に刷新する。

(1) 利用者が求める情報を探しやすいとする。

(2) 利用者がウェブサイトをすぐに離脱せず，長く留まり多くのページを閲覧するように工夫をする。

(3) 最新の情報に更新して，信頼性の高い内容を掲載する。

(4) 高校生をはじめとする一般市民の人たちが興味を引き，魅力的かつわかりやすい掲載内容にする。

- (5) 印象的な写真や動画コンテンツを活用して、本学のイメージアップを図る。
- (6) 在校生，卒業生，留学生，教職員のインタビュー記事など親近感のある内容を掲載する。
- (7) 海外在住の受験候補者，本学の留学生，海外の大学関係者・研究者に対応した英語の掲載内容を充実する。

2-2. 表記言語

日本語版と英語版を制作すること。ただし，主要組織ウェブサイトの中には日本語版のみの制作となるウェブサイトがある。別紙1「制作対象となるウェブサイト一覧」を参照すること。

※本件に翻訳業務は含まない。制作に必要な英語テキストは本学が翻訳して提供する。

2-3. デザイン

デザインについては，見た目の印象を左右するグラフィックデザインと，操作性の良し悪しを決めるUIデザインのどちらも思案されたものであること。見た目は良いが操作性が悪いといったウェブサイトにならないようにすること。

- (1) 美しい北海道の自然豊かなキャンパスであること，そこで学生も研究者ものびのびと学び，研究をしていること，多様な生物を研究対象としていることを盛り込んだデザインにする。
- (2) 解像度の高いモニターで見ても写真や図がきれいに見える。
- (3) 日本語，英語ともに文字の可読性に注意する。
- (4) スマートフォンやタブレットなどのデバイスに対応したレスポンシブなレイアウト表示にする。
- (5) パソコン及びスマートフォンやタブレットでも操作がしやすいUIデザインにする。
- (6) 公開後5年間は陳腐なデザインにならないように，先進的でありつつ，流行を追い過ぎてすぐに飽きられるデザインを避ける。
- (7) リンク先が内部リンクか外部リンクかPDFファイルであるかなどを明確にする。特に学内限定のウェブサイトにリンクを貼る場合，リンク先に行く前に学内限定であることがわかる表示にする。

2-4. CMSの要件及び機能

現行ウェブサイトはいずれもCMSを使用しておらず，本件の制作業務では以下の点を要件としてCMSを導入する。オープンソースのCMSをベースとし，必要に応じてプラグインモジュールの追加や，カスタマイズを行うことにより要件を満たすシステムとしてWordPressを想定しているが，WordPress以上の利点があれば他のCMSの提案を可とする。

- (1) ウェブサイトの専門知識を持たない教職員でも容易に更新が行えるようにする。これにより、運用方針及び管理と更新の体制を整備した上で、情報発信者を増やし、常に信頼性のある最新情報を迅速に掲載できるようにする。
※全体の管理体制と各ウェブサイトの更新体制については、別紙3「平成31年度以降のウェブサイト管理体制と更新体制」を参照すること。
- (2) ウェブサイトにおいて本学の教職員が技術的に更新できなかった範囲を減らし、柔軟に更新できる範囲を拡大する。これにより、広報活動の迅速な展開に更新のタイミングを合わせられるようにする。
- (3) 本学の教職員が更新用に使用しているアプリケーション（Dreamweaver、ホームページ・ビルダーなど）を不要とする。また、部署ごとに分散してしまっている特定のパソコンによる更新体制も不要とする。これにより、更新作業や掲載内容の確認に使用するパソコンを特定する必要を無くし、柔軟かつ効率的な更新体制を図る（ただし、規定のセキュリティを徹底して、その範囲内に限定する）。
- (4) 本体ウェブサイト及び主要組織ウェブサイト共有の教員・研究紹介のデータベースを作成して、一元管理するシステムを構築して、各ウェブサイトがデータベースの情報を引用して表示できるようにする。これは、教員名に教員・研究紹介ページをリンクさせるのではなく、あくまで各ウェブサイトの教員・研究紹介ページ上に表示させることである。（教員数：約140名）これにより、一人の教員・研究紹介を更新するために、複数のウェブサイトの該当ページを更新する必要を無くす。
- (5) ディレクトリ名を変えることなく、メニュー構成やバナーを柔軟に変えられるようにする。
- (6) サイト内のキーワード検索を実装する。
- (7) アクセス解析できる機能を実装する。
- (8) Google 検索エンジン最適化を図る。
- (9) エラーページのカスタマイズを行い、利用者に関連状況を的確に伝達して、代替ページ等を用意する。
- (10) 下記対応ブラウザを用いて管理画面より管理及び更新を可能とする。
Internet Explorer 11, 次のブラウザの最新版: Edge, Chrome, Firefox, Safari
- (11) テキスト、他ページやファイルへのリンク、画像等のコンテンツ要素は、WYSIWYG エディタによりコンテンツ表示エリア内でレイアウト可能とする。
- (12) コンテンツに掲載する画像やリンクするファイル等の追加は、そのコンテンツの編集フォームから可能とする。
- (13) ページを構成するボタンやバナーなどの画像要素は管理者が差し替え可能とする。
- (14) メニュー構成の編集、投稿ページのカテゴリーの追加、バナーの変更、ページの作成と編集、公開等について、権限の設定を可能にすること。管理者と更新者の権限については別紙3「平成31年度以降のウェブサイト管理体制と更新体制」を参照すること。

- (15) 投稿ページの自動的な時限的公開（指定時間に公開，または非公開状態になる設定）を可能とする。
- (16) URL の一部となるページ名及びディレクトリ名として，URL として使用可能な任意の文字列を指定可能とする。
- (17) ページごとにバージョン管理が可能で，誤ったコンテンツの上書きを行った際などに，任意の時点にロールバック可能とする。
- (18) 印刷用の CSS を設定して，A4 縦でプリントアウトしても画面の主要情報が失われることなく印刷可能とする。
- (19) リンク切れの確認管理をするための機能（Broken Link Checker 等のプラグイン）を実装する。

2-5. セキュリティ対策

ウェブサイト公開時において，CMS 及び使用プラグインをその時点での最新バージョンとし，以下のセキュリティ対策を講じること。

- (1) ファイアウォール機能によるアクセス制限を行う。
- (2) ユーザーアカウントのパスワードは，8 文字以上の複雑な文字列を有する。
- (3) 管理者ユーザー名に admin, wpmaster 等の使用を避けること。また，管理ページへのログインには 2 段階認証を設ける。
- (4) ウェブサイトの公開は，常時 SSL/TLS を基本方針とする。
- (5) telnet 及び不要なポートは閉鎖する。
- (6) SSH は秘密鍵認証のみアクセスを許可し，root によるリモートアクセスは禁止する。
- (7) 限られたユーザーのみに root 昇格権限を与える。
- (8) 直近 1 年間のログを保管し，常時確認可能な設定にする。
- (9) 公開後の各セキュリティアップデート及びメンテナンスが可能な状態で構築する。

2-6. ウェブアクセシビリティの配慮

色味のコントラスト，使用フォント，文字サイズ，画像キャプション，UI デザインに配慮すること。

2-7. コンテンツ制作の提案

本学の教育・研究方針を理解して，その特徴をアピールするコンテンツの企画を少なくとも 1 つ提案すること。ただし，企画を継続するにあたり，本学担当者の負担が大きくなるようにすること。

2-8. ライティング業務の提案

掲載するテキストは本学より提供するが、ウェブサイト全体を通してわかりやすいテキストにリライトすること。また、魅力的なタイトル付けや、内容を推測できるわかりやすいメニュー名を考えること。

2-9. 写真・動画撮影

写真、動画素材は本学から提供するが、デザインや掲載内容の向上を図り、制作に撮影を盛り込んだ提案を希望する。撮影には以下の点に留意すること。

- (1) 撮影した素材及び加工画像等の一切の著作権を本学に譲渡すること。受注者は二次利用においても著作権を行使しないこと。
- (2) 撮影には本学の許可を取り、個人が特定できる素材については本学がその個人に使用目的を説明して許可をもらうこと。
- (3) 無断で建物内に入り、撮影することを禁止する。
- (4) 本学のイメージとセキュリティを脅かす情報の映り込みを禁止する。

2-10. 操作マニュアルの作成

操作マニュアルはウェブサイトの専門的な知識を持たない者が更新担当者となることを想定して、操作画面の画像を掲載するなどわかりやすい解説に努め、以下の 2 種類を用意すること。

- (1) 管理者用（ウェブサイト管理の全権限を持った者）の運用マニュアル
- (2) 更新者用（ページの新規作成及び更新する権限を持った者）の運用マニュアル

2-11. 管理者、更新者の研修

上記のマニュアルを使い、管理者、更新者それぞれに管理方法、更新方法をレクチャーする研修会を公開前に各 1 回ずつ開くこと。日程と会場については本学担当者と相談すること。

2-12. 本業務の遂行体制と制作スケジュールの管理

本業務を遂行するにあたり、全体を統括するディレクターを任命して、本学との連絡、報告、制作スケジュールの管理をすること。

2-13. 現行ウェブサイトから新ウェブサイトへの移行作業

制作には、現行ウェブサイトに掲載している平成 29 年度と平成 30 年度の「トピックス」（約 300 件）を新ウェブサイトに移行する作業を含むこと。

2-14. DNS サーバーの設定

公開日となる平成 31 年 4 月 1 日（月）に本学担当者が行う。

2-15. 現行サイトについて

平成 31 年 3 月 31 日（日）まで現行ウェブサイトは稼働させて、新規ウェブサイトの公開と同時に、本学担当者が現行ウェブサイトのすべてのデータを保存して非公開とする。また、本学のドメイン（<http://www.obihiro.ac.jp/>）を使っている現行ウェブサイトから新しいサーバーに移行しないウェブサイトに関しては、本学担当者がドメインを変更して現在のサーバーで稼働させる。（平成 31 年 4 月 1 日（月）の公開前に一週間のドメイン及び現行サーバーの変更期間を設ける）

2-16. サーバーの要件

- (1) サーバー及びバックアップサーバーともに学外のサーバーに設置すること。以下のスペック以上の提案をすること。
VPS サーバー／CPU 仮想 4Core／メモリ 8G／ストレージ SSD100GB
- (2) NII（国立情報学研究所）の学術情報ネットワーク SINET5 のサービス提供機関として加入している事業者のサーバーを利用すること。この要件は、サーバーの提供実績を問うと共に、将来、全学的なクラウド化に備え、本学が利用するサーバーの提供事業者の分散をできるだけ抑えるためである。

2-17. 対応ブラウザ，OS，表示の要件

利用者が使用するウェブブラウザと環境は以下を想定する。これらブラウザにて、レイアウトが大きく崩れるようなことが無いように努めること。

- (1) Internet Explorer 11, ウェブサイト公開時における次のブラウザの最新版: Edge, Chrome, Firefox, Safari（いずれも PC 環境の場合）
- (2) ウェブサイト公開時における次の環境, ブラウザの最新版: iOS デバイス (iPhone, iPad) の Safari, Android スマートフォンの Chrome
- (3) ウェブサイトの横幅が、利用者の環境の特定の解像度に依存しないように、レスポンシブデザインとする。
- (4) スマートフォン等でも見やすいように、小さな画面にも対応する。
- (5) ウェブブラウザの拡大表示機能に対応する。

2-18. UPKI 証明書設定

UPKI 電子証明書を設定すること。UPKI 電子証明書は本学より申請する。

<https://certs.nii.ac.jp/>

2-19. リダイレクトの設定

本学のドメイン (<http://www.obihiro.ac.jp/>) を使っている現行ウェブサイトから新しいサーバーに移行しないウェブサイトに関しては、リンクが切れないようにリダイレクトの設定をすること。リダイレクトが必要な URL の一覧は本学から提供する。

2-20. 納品方法

公開するサーバーに、公開に必要なサーバー設定、及び CMS や実装する機能に必要な設定を行い、必要なデータを設置すること。バックアップサーバーにも同様の設置をして、バックアップ体制を稼働させること。

以下の書類については、紙媒体 2 部及び電子データを納品すること。

- (1) 納品時のサーバー及び CMS 等のシステム設定情報
- (2) 管理者用運用マニュアル及び更新者用運用マニュアル

(別紙1)制作対象となるウェブサイト一覧

刷新および変更の対象となるウェブサイトは以下の通りである。(URLの変更点は太字で記載)

<管理更新を独立させるが、システム・構成・内容・デザイン、更新体制に関して統一性を持たせて刷新するウェブサイト>

ウェブサイト名	日・上段:現行 URL	
	英	下段:新規 URL (UPKI サーバ証明書設定)
本体ウェブサイト(1ウェブサイト)		
帯広畜産大学	日英	http://www.obihiro.ac.jp/ https://www.obihiro.ac.jp/
主要組織ウェブサイト(7ウェブサイト)		
グローバルアグロメディシン研究センター	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~gamrc/ https://www.obihiro.ac.jp/facility/gamrc/
原虫病研究センター ※生命平衡科学講座(白寿)を統合	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~protozoa/ http://www.obihiro.ac.jp/facility/hakuju/index.html https://www.obihiro.ac.jp/facility/protozoa/
地域連携推進センター	日	http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/ https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/
畜産フィールド科学センター ※家畜・植物防疫研究室は対象外 馬介在活動室及び食品加工実習施設の内容を統合して一つのサイトとする	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~fcasa/ http://www.obihiro.ac.jp/~umakaizai/ http://www.obihiro.ac.jp/facility/syokuhinkakousisetu.pdf https://www.obihiro.ac.jp/facility/fcasa/
動物医療センター	日	http://www.obihiro.ac.jp/~hospital/ https://www.obihiro.ac.jp/facility/hospital/
動物・食品検査診断センター	日	http://www.obihiro.ac.jp/~rcahfs/ https://www.obihiro.ac.jp/facility/rcahfs/
獣医学教育国際認証推進室	日	http://www.obihiro.ac.jp/~kyoiku_ninsho/ https://www.obihiro.ac.jp/facility/kyoiku_ninsho/

<現行では独立しているが、新規には運用管理を本体ウェブサイトと統合させるウェブサイト>

ウェブサイト名	日・英	上段:現行 URL 下段:新規 URL (SSL サーバ証明書付き)
附属図書館	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~library/ https://www.obihiro.ac.jp/library/
保健管理センター ※学生相談室を統合	日	http://www.obihiro.ac.jp/~hokencenter/ http://www.obihiro.ac.jp/~soudan/top1.html https://www.obihiro.ac.jp/hokencenter/
大学基金	日	http://www.obihiro.ac.jp/~u-kikin/ https://www.obihiro.ac.jp/u-kikin/
教務・学生支援情報	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~gakumu/index.php https://www.obihiro.ac.jp/gakumu/
大学教育センター(教務・学生支援情報の 中に取り込む)	日	http://www.obihiro.ac.jp/~cea/ https://www.obihiro.ac.jp/gakumu/
イングリッシュ・リソース・センター	日	http://www.obihiro.ac.jp/facility/erc.html https://www.obihiro.ac.jp/erc/
入試情報	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~nyushi/ https://www.obihiro.ac.jp/nyushi/
入札・契約情報(現行の入力用 cgi プログラ ムは使用せず, CMS で同等の表示を実現 すること)	日	http://www.obihiro.ac.jp/~faci/index.cgi https://www.obihiro.ac.jp/faci/

<刷新および変更の対象とせず、サーバーの移設も行わないウェブサイト>

ただし、ドメインの変更に伴い、新規ウェブサイトを設置するサーバーにリダイレクトの設定が必要

ウェブサイト名	日	上段: 現行 URL
	英	下段: 公開後の URL (ドメイン変更)
情報処理センター	日	http://www.obihiro.ac.jp/~ipcenter/ http:// univ .obihiro.ac.jp/~ipcenter/
共用機器基盤センター	日	http://www.obihiro.ac.jp/~kyotuportal/ http:// univ .obihiro.ac.jp/~kyotuportal/
同窓会ウェブサイト「逍遙舎」	日	http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/ http:// univ .obihiro.ac.jp/~dousou/
国立大学法人帯広畜産大学職員給与規程	日	http://www.obihiro.ac.jp/~joureisv/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000122.htm http:// univ .obihiro.ac.jp/~joureisv/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000122.htm
帯広-JICA 協力隊連携事業	日	http://www.obihiro.ac.jp/project/intcollabo/jocv/index.html http:// univ .obihiro.ac.jp/project/intcollabo/jocv/index.html
大学院畜産学研究科畜産衛生学専攻	日英	http://www.obihiro.ac.jp/~senko/index.html http:// univ .obihiro.ac.jp/~senko/index.html
特色ある研究の紹介	日英	http://www.obihiro.ac.jp/focus/ http:// univ .obihiro.ac.jp/focus/
他, 教員, 研究室, プロジェクトの個別のウェブサイト		http://www.obihiro.ac.jp/~*****/ http:// univ .obihiro.ac.jp/~*****/

<サーバーの移設も行わず、ドメイン変更もないウェブサイト>

ウェブサイト名	日	上段: 現行 URL
	英	
学内限定ウェブサイト	日	http://board.obihiro.ac.jp/
教務システムポータルサイト	日英	https://gkm02.obihiro.ac.jp/portal/

(別紙2) 本学の広報活動の対象者と求める行動

本学の広報活動の対象者とそれぞれに求める行動は以下の通りである。特に**ゴシック**にした項目は対象者が本学のウェブサイトにも求める情報と想定している。

対象者	求めるアクション
高校生・受験生	オープンキャンパスの参加／問合せ／資料請求／受験／入学／再挑戦／金銭的支援／費用／畜大へ進学するメリット(就職率や資格修得)／カリキュラム説明／特色ある研究活動／学生生活の理解／課外活動(サークル, 自主活動)の理解
在学学生	大学施設やシステムの利用／学業・研究・生活に必要な情報をスムーズに入手／充実した日常活動(部活, サークル, アルバイト, ボランティアなど)／将来の夢を見つけ, 叶える(就職・進学)／留学／金銭的支援／各種問合せ相談窓口／シラバス／単位取得モデル／研究室配属へ向けた研究室紹介／社会貢献活動への参画／学業・研究に勤しむ／大学への信頼／家族, 学生, 教職員とのコミュニケーション／心身ともに健康に過ごす／後輩への提案／ネットワークづくり／畜大生であることの誇りを持つ／心の支え・相談
大学生(在学学部生, 海外の大学生を含む)	大学院説明会(海外で行うイベントも含め)の参加／問合せ／資料請求／大学院受験／再挑戦／海外からの受験／金銭的支援／シラバス／単位取得モデル／研究室配属へ向けた研究室紹介／大学院へ進学するメリット(就職率や資格修得)
留学生	学業・研究に勤しむ／安心して日本での生活を過ごす・相談窓口／学業・研究・生活に必要な情報をスムーズに手に入れる／大学施設やシステムの利用／充実した日常活動(部活, サークル, アルバイト, ボランティアなど)／将来の夢を見つけ, 叶える(就職・進学)／金銭的支援／社会貢献活動への参画／大学への信頼／家族, 学生, 教職員とのコミュニケーション／心身ともに健康に過ごす／自国の後輩への提案／ネットワークづくり／畜大生であることの誇りを持つ
保護者	子どもの受験対象としての関心／在学する子どもの状況把握／金銭的支援／畜大へ進学するメリット(就職率や資格修得)／カリキュラム説明／子どもの心の支え・相談／大学への信頼／寄附
受験に関わる高校教員, 教育関係者	大学の特長を知る／受験生とのマッチングを正しく測る／オープンキャンパスの参加／問合せ／資料請求／畜大へ進学するメリット(就職率や資格修得)／受験を勧める／カリキュラム説明
研究者(学外)	大学の研究者, および研究内容, 研究活動, 研究成果を知る／研究者募集に応募／共同研究／協定／イベント招聘／担当窓口・連絡先／成果有体物情報
研究者(学内)	共同研究・外部資金に関する情報・対策等含む相談／各種実験に係る諸手続き／各種問合せ相談窓口・連絡先／より良い教育, 研究を目指し勤しむ／教育と研究のアウトリーチ活動／大学広報への協力／研究倫理を守る／ハラスメント行為をしない／畜大研究者としての誇りを持つ／社会貢献／寄附(元研究者)

卒業生	<p>大学, 先輩, 後輩とのつながりを持続する／学び直し(社会人入学含む)／大学での学びを活かす／社会貢献／後輩への提案／卒業生の話聞くイベント招聘／畜大卒業生であることの誇りを持つ／寄附／大学院, 研修で新しい知見を学ぶ／ホームカミングデーなどイベントに参加する／同窓会情報／JICA 長期派遣参加／卒業生の就職支援</p>
市民	<p>イベント参加／学び直し(社会人入学含む)／施設の利用／学生, 大学に対して好感を持つ／共同企画の実施／寄附／商業活動・購買／勤労(大学で働く)／アルバイト／ボランティア／教育と研究のアウトリーチ活動／生涯学習</p>
企業	<p>各種検査, 研究, 資格, 認定等の依頼／施設・機器の活用／商業活動・購買／業務委託・発注／産学連携／シーズの活用／共同研究／寄附講座／学生の就職／寄附／イベント参加／研修・講座等への人材の派遣／学び直し(社会人入学含む)</p>
獣医関係者	<p>各種検査, 研究, 資格, 認定等の依頼／施設・機器の活用／研修・講座等への人材の派遣／学び直し(社会人入学含む)／共同研究／寄附講座／商業活動・購買／業務委託・発注／学生の就職／寄附／イベント参加</p>
畜産関係者	<p>各種検査, 研究, 資格, 認定等の依頼／施設・機器の活用／研修・講座等への人材の派遣／学び直し(社会人入学含む)／シーズの活用／共同研究／寄附講座／商業活動・購買／業務委託・発注／学生の就職／寄附／イベント参加</p>
道市町村および国の行政関係者	<p>教育研究支援／運営支援／研究の状況を知る／産学官連携／各種検査, 研究, 資格, 認定等の依頼／施設・機器の活用／大学の運営状況の把握／人材出向／政策交渉／シーズの活用／共同研究／学生の就職／寄附／イベント参加／研修・講座等への人材の派遣／学び直し(社会人入学含む)</p>
教職員	<p>教育・研究を支え発展させる／より良い大学づくり／業務改善／心身共に健康に働ける職場づくり／すべてのステークホルダーとのコミュニケーション／プロジェクトの認知と成功／大学の状況把握／大学の認知度を上げる／教職員の連携, 協同／大学の支援(者)を増やす／収益を増やす／モラルを守る／向上的学習／エコロジカルな環境づくり(ペーパーレス, エネルギーの節約, クールビズ, ウォームビズなど)／教育・研究シーズ／各種問合せ窓口・担当者／社会貢献活動への参画／学び直し(社会人入学含む)</p>

(別紙 3) 平成 31 年度以降のウェブサイト管理体制と更新体制

新たに制作する本体ウェブサイトと主要組織ウェブサイトの管理体制と更新体制は以下の通りである。

(数字は公開時に必要なアカウント数)

権限の名称と権限の範囲

	管理者権限	更新権限 A	更新権限 B
メニュー構成の編集, 投稿ページのカテゴリの追加, バナーの変更等	○		
ページの編集及び公開 (投稿ページ, その他のページを含む)	○	○	
ページの作成 (下書き→確認依頼/投稿ページに限る)	○	○	○

本体ウェブサイトの管理体制と更新体制

	管理者権限	更新権限 A	更新権限 B
総務課 基金・広報戦略室	1	2	2
戦略企画課	0	1	1
経理課	0	1	1
施設課	0	1	1
国際・地域連携課	0	1	1
入試・教務課	1	2	2
学生支援課	0	1	1
研究支援課	0	1	1
情報管理課	0	1	1
附属図書館	0	1	1
保健管理センター	0	1	1
大学教育センター	0	1	1
イングリッシュ・リソース・センター	0	1	1
情報処理センター	0	1	1
共用機器基盤センター	0	1	1

主要組織ウェブサイトの管理体制と更新体制

いずれも所属組織のウェブサイトに限った権限である。他の組織及び本体ウェブサイトの権限は持たない。ただし、総務課 基金・広報戦略室はすべての管理者権限を持つ。

	管理者権限	更新権限 A	更新権限 B
グローバルアグロメディシン研究センター	2	1	1
原虫病研究センター	2	1	1
地域連携推進センター	2	1	1
畜産フィールド科学センター	2	1	1
動物医療センター	2	1	1
動物・食品検査診断センター	2	1	1
獣医学教育国際認証推進室	2	1	1

教員・研究紹介一元管理データベースの管理・編集者権限

	管理・編集者権限
総務課 基金・広報戦略室	1
入試・教務課	1
研究支援課	1
附属図書館	1